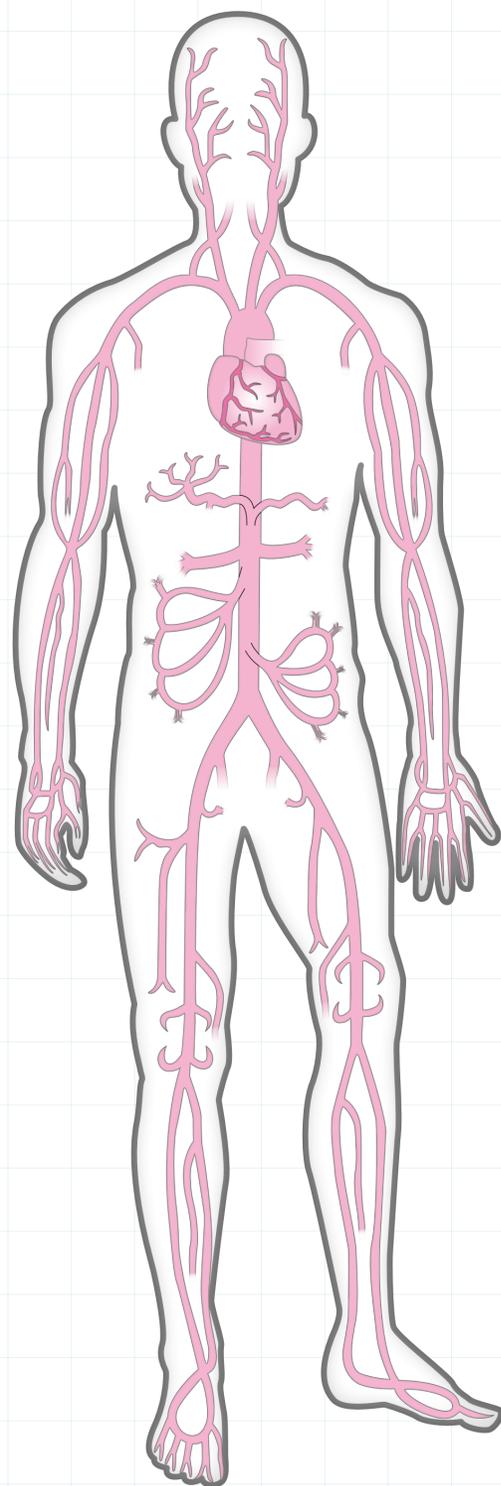


冠動脈疾患と 経皮的冠動脈インターベンション (PCI)

心臓の構造と冠動脈の役割



心臓は血液を体の隅々に送るポンプの役割をしている重要な臓器です。

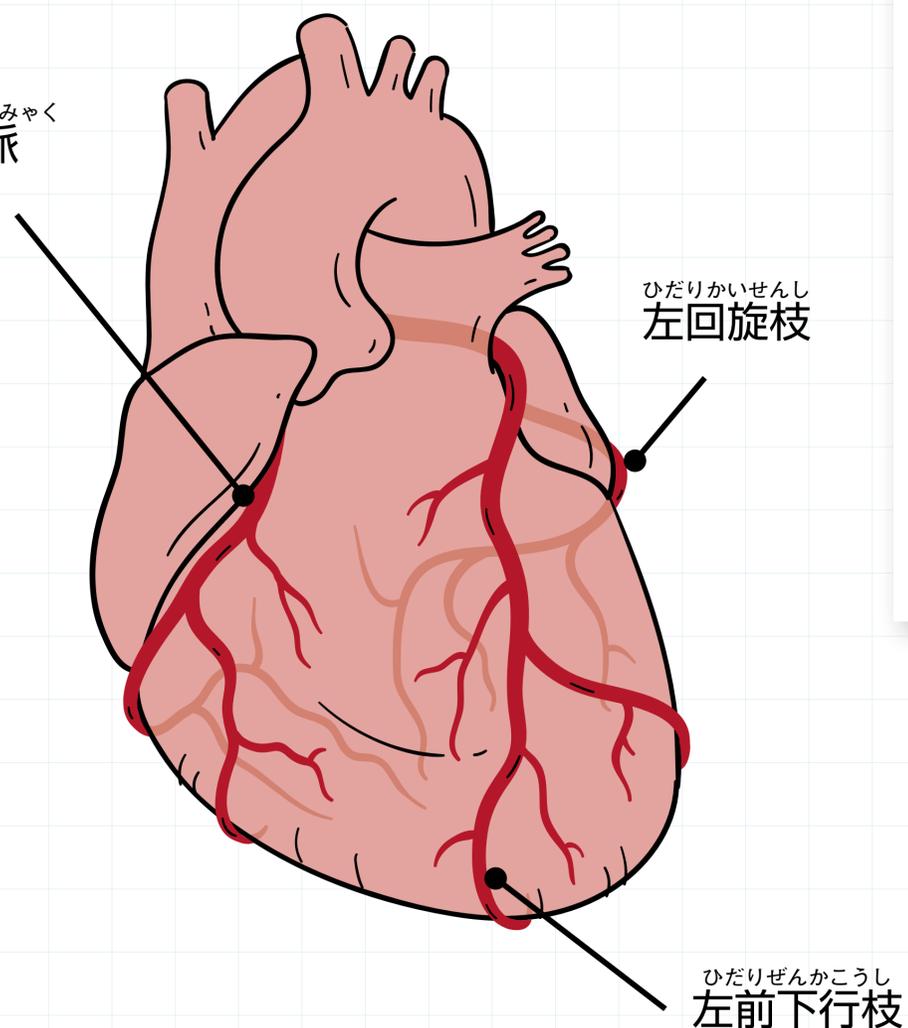
心臓から排出された血液は動脈を通過して酸素や栄養を全身に運び、

老廃物や二酸化炭素を回収して静脈を通過して心臓に戻ります。

次へ

心臓の構造と冠動脈の役割

みぎかんじょうどうみやく
右冠状動脈



ひだりかいせんし
左回旋枝

ひだりぜんかこうし
左前下行枝

心臓の表面には^{かんどうみやく}冠動脈と呼ばれる血管が3本走行しており、心臓自体がポンプの役割を果たすために必要な酸素や栄養を与えています。

次へ

虚血性心疾患とは

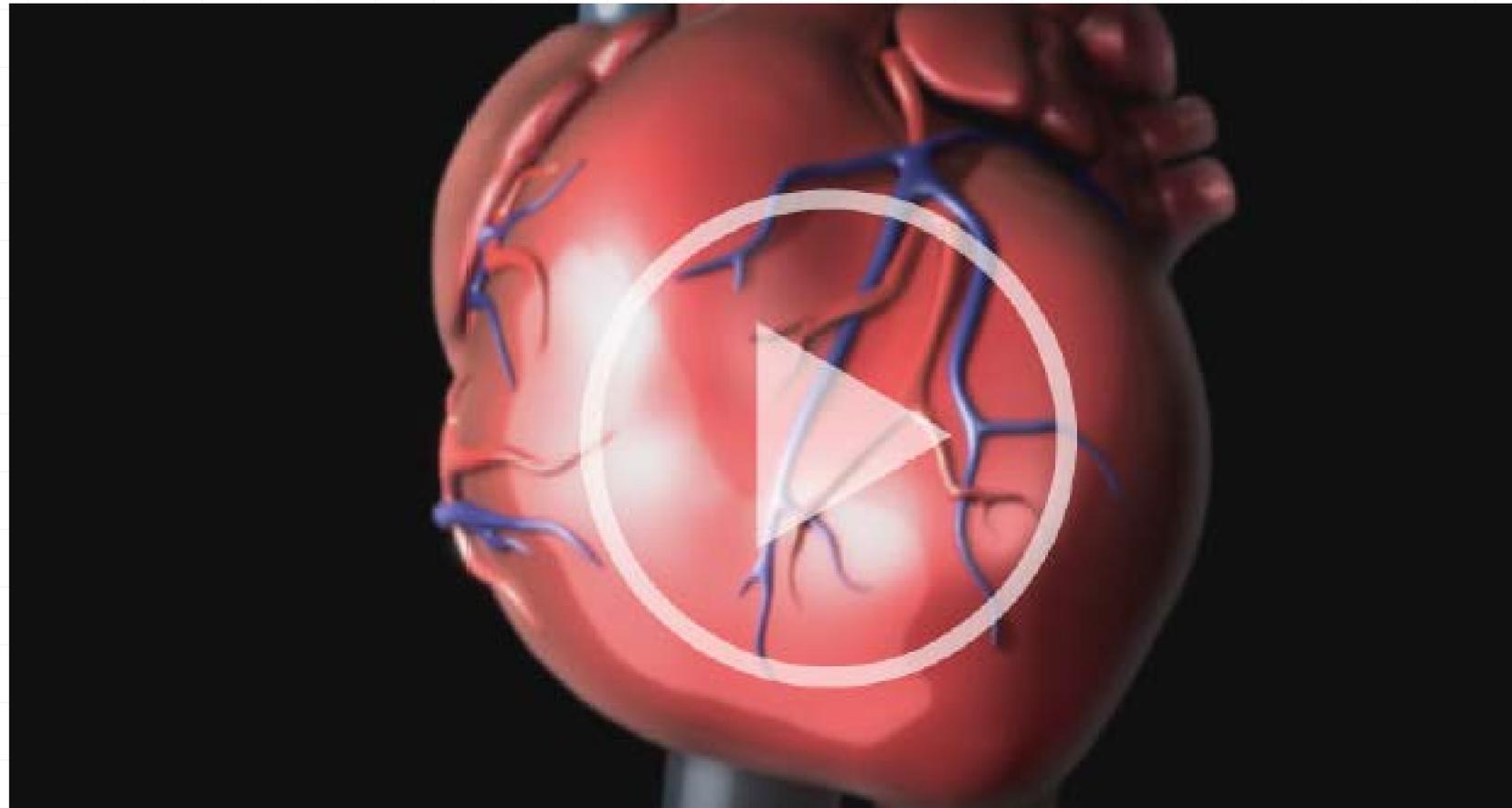
きよけつせいしんしっかん
虚血性心疾患は心臓の冠動脈へ正常に血液が送り込まれなくなる事によって起こる疾患で、大きく分類すると、^{きょうしんしょう}狭心症と^{しんきんこうそく}心筋梗塞があります

きょうしんしょう
狭心症

しんきんこうそく
心筋梗塞

次へ

狭心症とは



次へ

心筋梗塞とは



次へ

冠動脈疾患の兆候

かんどうみやくしっかん

冠動脈疾患は数十年かかって発症することが多く、生命を脅かす状態になるまで症状に気づかないことが少なくありません。

冠動脈疾患の主な症状としては、

- 胸痛
- 胸部圧迫感
- 上腹部痛

その他、背部痛、喉が詰まる感じ、肩の痛み、息苦しさ、あるいは無症状など、その症状は様々です。

次へ

冠動脈疾患の危険因子

これまでに行われた多くの臨床試験の結果より、**冠動脈疾患の危険因子**が明らかになっています。

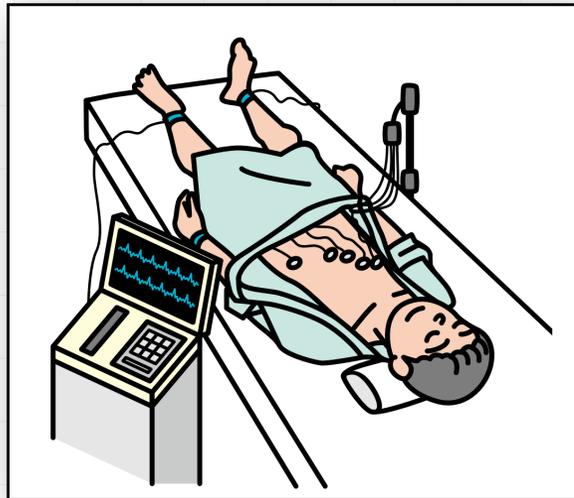
- 高血圧
- 糖尿病
- 脂質異常症
- 喫煙
- 痛風
- 年齢
- 遺伝
- 肥満
- 男性または閉経後の女性、等々

ストレスや不規則な生活を避けるなど、日頃のリスク管理が重要です。

次へ

冠動脈疾患の検査

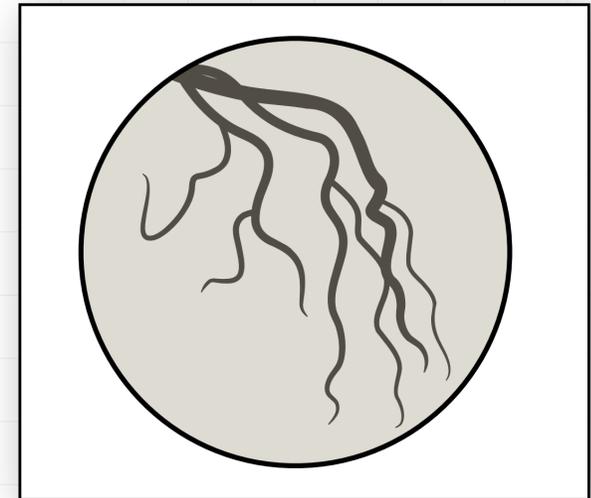
冠動脈疾患が疑われる場合は、診断のために血液検査をはじめとする、いくつかの検査を行います。



心電図検査



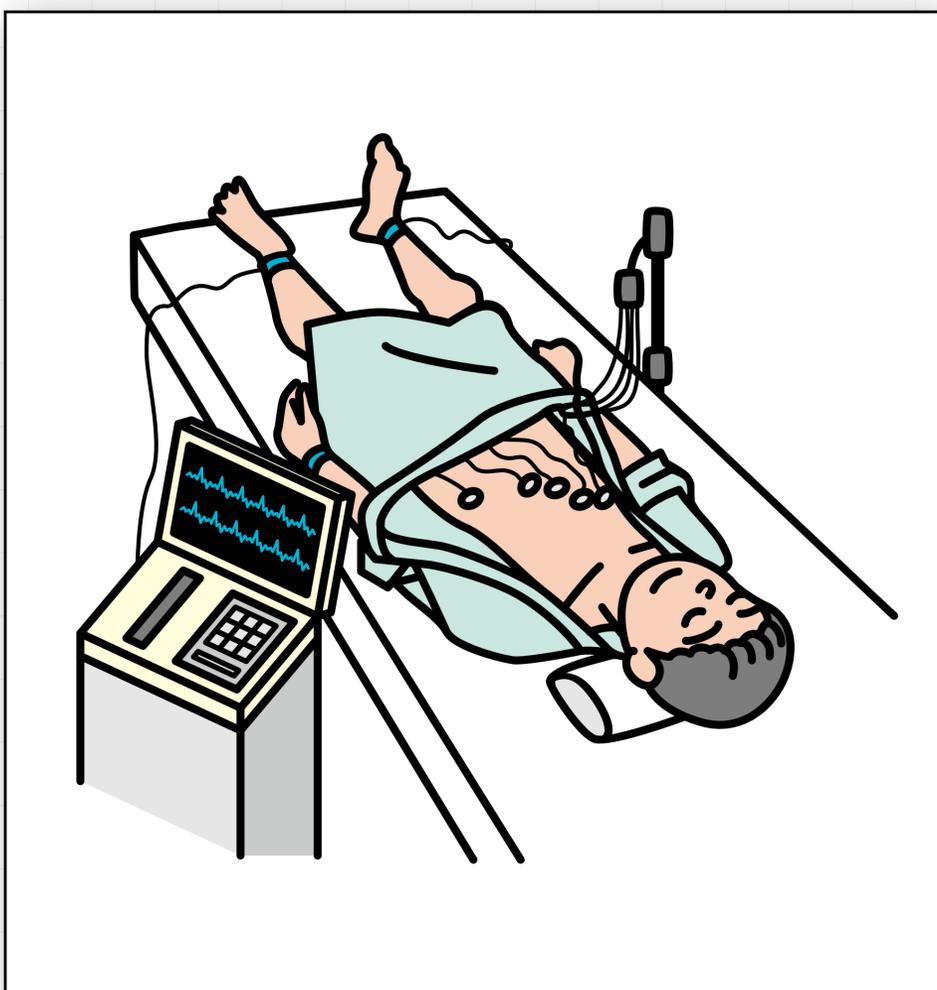
運動負荷心電図検査



冠動脈造影検査

次へ

冠動脈疾患の検査



心電図検査

- 胸と両手首、両足首に電極をつけ心臓の電気的信号を記録する検査です
- 心筋が酸素不足による損傷を受けているかどうかを確認します

次へ

冠動脈疾患の検査



運動負荷心電図検査

- 急ぎ足などの運動をしながら心電図を見る検査です
- 狭心症など心臓に負担がかかった時に症状が現れやすい病気をみつけるのに有効です

次へ

冠動脈疾患の検査

かんどうみやくぞうえいけんさ 冠動脈造影検査

- カテーテル(細長いチューブ)を使って、造影剤(X線に写る薬剤)を冠動脈に注入し、冠動脈のX線撮影を行います
- 撮影された画像から、冠動脈のどの辺りがどの程度狭くなっているのかを確認し、治療の方向性を決定します

次へ



冠動脈疾患治療の選択肢

内科的治療

- 薬物療法
- けいひてきかんどうみやく経皮的冠動脈インターベンション (PCI) ※

※ PCI = Percutaneous Coronary Intervention

外科的治療

- 冠動脈バイパス術 (CABG)

次へ

冠動脈疾患治療の選択肢

内科的治療

薬物療法

- 薬剤による治療法で、通常、けいひてきかんどうみやく経皮的冠動脈インターベンション (PCI) や、冠動脈バイパス術と併用して行われます
- 血液を固まりにくくするお薬や、高血圧、糖尿病、脂質異常症を治療するお薬が冠動脈疾患の治療や予防に重要です。担当医師の指示のもとに服用しましょう



次へ

冠動脈疾患治療の選択肢

内科的治療

けいひてきかんどうみやく

経皮的冠動脈インターベンション (PCI) ※

- **バルーン**や**ステント**の挿入により狭くなった冠動脈を内側から広げ血流を回復させます
- 手首や足の付け根の動脈から細いカテーテルを通して治療を行うため、冠動脈バイパス術と比較して
ていしんしゅう
低侵襲です



※ PCI = Percutaneous Coronary Intervention

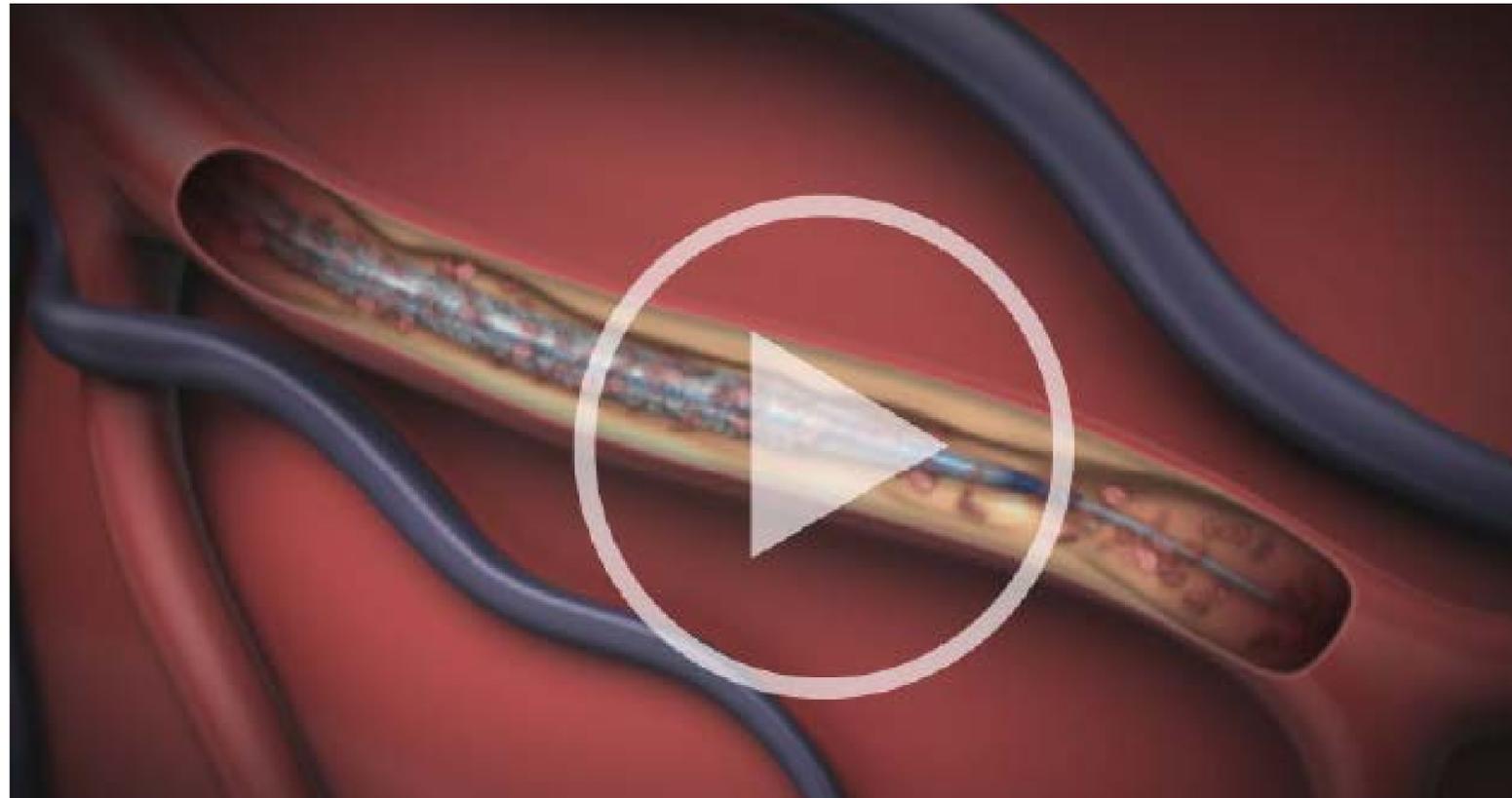
次へ

冠動脈疾患治療の選択肢

内科的治療

けいひてきかんどうみやく

経皮的冠動脈インターベンション (PCI)



次へ

冠動脈疾患治療の選択肢

外科的治療

冠動脈バイパス術 (CABG)

- 冠動脈に血液が流れるための「迂回路 (バイパス)」をつくる外科的治療法です
- 狭窄きょうさくしている血管をまたいで、自己動脈または静脈を繋ぐことにより、狭くなった血管の先に血液を送る事が出来ます
- 多くの場合、全身麻酔下での開胸手術となります

次へ

退院後

- 退院後は、生活習慣の改善を心がけてください。
- 処方されたお薬は医師の指示に従い、決められた時間に服用してください。



次へ

監修：

東京大学医学部附属病院
循環器内科 安東 治郎 先生

協賛：



【免責事項】

本文書は一般の方々への情報提供を目的としており、医療機関によるアドバイスの代替となるものではありません。治療に関しては医師または看護師にご相談ください。本文書のご利用に際して生じたトラブルにつきまして、アボットバスキュラージャパン株式会社は一切責任を負いかねます。